

## 3M、サステナビリティに関する 「2022 3M ジャパングループ インパクトレポート」を発行

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役：宮崎 裕子）は 10月 21日（金）、[「2022 3M ジャパングループ インパクトレポート」](#)（旧 3M ジャパングループ サステナビリティレポート）を発行しました。本レポートは、3Mが発行した『[2022 Global Impact Report](#)』（英語版）から日本国内のステークホルダーの皆さまに関わりの深い箇所の抜粋と、3M ジャパングループの 2021 年度のサステナビリティ活動に関する情報を分かりやすく開示しています。

### ◆レポート概要

3M ジャパングループのサステナビリティに関する取り組みについて、「サイエンスで循環型経済に貢献」「サイエンスで気候変動に貢献」「サイエンスでコミュニティに貢献」という 3つのフレームワークに沿って紹介しています。



#### Science for Circular サイエンスで循環型経済に貢献

少ない資材でより大きな効果をもたらすソリューション、製造拠点での廃棄物・水使用量削減の取り組みなど、循環型経済に寄与する取り組みについて



#### Science for Climate サイエンスで気候変動に貢献

産業の脱炭素化のためのイノベーション、世界的気候課題のソリューションの加速化、自社の環境フットプリントを改善するための取り組み、顧客の温室効果ガス削減に寄与する 3M 製品について



#### Science for Community サイエンスでコミュニティに貢献

サイエンスを通じてよりポジティブな世界を作り、人びとのコミュニティに対する意識を喚起するためのボランティア活動や STEM 分野の多様性促進のための活動について

### ◆代表取締役社長 宮崎 裕子のコメント

「サイエンスとイノベーションの力で生み出された数々のソリューションは、3Mの自主性を重んじる環境が育んだ自由な発想と創造力、長年にわたり培ってきた多様な技術と人びとのアイデアが組み合わせることで生まれたものです。持続可能性を常に考慮して開発された製品は、エレクトロニクスからヘルスケアまで多岐の分野にわたります。今後もサイエンスを活用し、お客様、パートナー、コミュニティなどあらゆるステークホルダーと協働し、持続可能な未来に向け、重要な社会の課題を解決できるようにイノベーションを促進し続けていきます」



◆「2022 3M ジャパングループ インパクトレポート」は[こちら](#)からご覧いただけます。

◆「環境ソリューション製品カタログ」は[こちら](#)からご覧いただけます。

---

【3M について】

3M(本社：米国ミネソタ州)は、サイエンス（科学）が明るい未来を創造すると信じています。人びと、アイデア、サイエンスの力を解き放つことによりさらなる可能性を模索し、世界中の社員がお客様、地域社会、そして地球の課題を解決するために取り組んでいます。人びとの暮らしを豊かにし、「これから」を創り出すための 3M の活動は [www.3M.com](http://www.3M.com) または Twitter の [@3M](https://twitter.com/3M)、[@3MNews](https://twitter.com/3MNews) をご覧ください。3M ジャパングループについては [www.3mcompany.jp](http://www.3mcompany.jp) をご覧ください。

3M は 3M 社の商標です。

プレスリリースに掲載している内容は発表時点の情報です。

最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。